

機械器具(16) 体温計

管理医療機器 再使用可能な能動型機器接続体温計プローブ 37340002

ドレーゲル リューザブル体温プローブ

*

【禁忌・禁止】

併用医療機器「相互作用の項参照」

- MRI環境下では、使用しないこと。
[誘導起電力による発熱等で患者が損傷を負う恐れがある。]

*

【形状、構造及び原理等】

1. 外観

- ① ドレーゲル リューザブル体温プローブ 成人用 1.5m
- ② ドレーゲル リューザブル体温プローブ 成人用 3.0m
- ③ ドレーゲル リューザブル体温プローブ 小児用 1.5m
- ④ ドレーゲル リューザブル体温プローブ 小児用 3.0m



番号	各部の名称
①	シース
②	コネクタ
③	温度センサ

2. 患者に接触する部分の原材料

接触部分	原材料
シース	PVC(ポリ塩化ビニル)

3. 原理

温度変化を温度プローブのサーミスタの抵抗変化として測定する。

【使用目的又は効果】

患者監視モニタ等に接続し、測温部を直腸に挿入し、連続的に体温やその変化を測定する。洗浄して、再使用することができる。

【使用方法等】

- ご使用前に、パッケージより体温プローブを取り出し、体温プローブが破損していないことを確認して下さい。
- 測定の目的に適した体温プローブを選択して下さい。
- 必要に応じて体温プローブにカバーを付けてください。
- 体温プローブの測温部を患者の直腸に挿入し、適切な深さまで進めてください。
- 患者監視モニタ等に接続し、本体の測定開始のボタン、あるいはキーを押します。詳細は、接続先の患者監視モニタ本体の取扱説明書を参照して下さい。
- 使用後は、3%の過酸化水素、もしくは 70%のアルコールで洗浄して下さい。

* 【使用上の注意】

使用注意

- プローブカバーは天然ゴムラテックス製のため、過去に天然ゴムに対してアナフィラキシー症状等の既往歴のある医療関係者および患者には使用しないで下さい。

重要な基本的注意

- 操作の妨げとなる可能性があるため、マイクロ波やその他の高周波を放出する機器の近くで本医療機器を操作しないで下さい。

相互作用

併用禁忌(併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
MRI	併用/使用禁止	磁場による吸引、誘導起電力による発熱による火傷の恐れ

併用注意(併用に注意すること)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
電気メス	電気メスのシステムから遠ざけて下さい	熱傷が生じる恐れがあるため

* 【保管方法及び有効期間等】

有効期間

包装上のラベル中の使用期限を参照

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

詳細は、取扱説明書を参照ください。

1. 本医療機器を使用する前に、次の目視点検を実施して下さい。
 - 破損していないか。
 - 接続コネクタ内が汚れてないか。
 - モニタ本体と接続が、ゆるみなくしっかり接続しているか。
 - 汚れていないか。
 - 消毒にはフェノール消毒剤、強い芳香性のあるもの、塩素系、ケトン、エステル系溶剤は使用しないで下さい。
 - ケーブルをアルコール、軽有機溶剤、強アルカリ性溶液に長期に渡って浸さないで下さい。
2. クリーニング
 - 洗浄は、3%の過酸化水素水か又は 70%のアルコール液を含んだ布でよく拭き取ってください。
 - プローブ表面から吸収されるため、プローブにフェノール系消毒液を使用しないで下さい。
 - 強い香りを放つ塩化ケトン、エーテルやエステル系溶剤をプローブの洗浄に使用しないで下さい。
 - プローブを、長時間にわたってアルコール、有機溶剤、アルカリ系薬品に浸さないで下さい。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者： ドレーゲルジャパン株式会社

住所： 東京都品川区上大崎 2-13-17 目黒東急ビル

電話番号： 03-6447-7200

設計を行う

外国製造業者： Dräger Medical Systems Inc., Andover
ドレーゲルメディカルシステムズ社

製造国： アメリカ合衆国